



土地の形質の変更の景観形成基準（大規模な行為）

景観重点地区[土地の形質の変更]

景観形成基準	
法面、擁壁など	・当該土地の形質の変更に係り生じる法面や擁壁などのうち、道路等の公共用空地から見える部分については、石積みや自然石風の仕上げ、植栽等により周囲の景観との調和に配慮する。
敷地内の緑	・植栽については、できるだけ道路に面する部分に設置するとともに、西山の眺めや周囲の景観との調和に配慮する。

物件の堆積の景観形成基準（大規模な行為）

景観重点地区[物件の堆積]

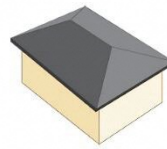
景観形成基準	
<ul style="list-style-type: none"> ・長期に渡り土石、廃棄物、再生資源などの堆積は行わない。 ・やむを得ない場合は、道路等の公共用空地から見えない場所を選ぶ、植栽等で目隠しする、又は高さを抑えるなどにより、周囲の景観との調和に配慮する。 	

参考：両流れの勾配屋根とは？

両流れの勾配屋根とは、主に棟から両側に流れる2方向に傾斜している切妻屋根、4方向に傾斜している寄棟屋根、切妻屋根と寄棟屋根を組み合わせた入母屋屋根のことを言います。



切妻屋根



寄棟屋根



入母屋屋根

参考：見付面積とは？

見付面積とは、けた行方向又は張間方向の鉛直投影面積のことを言います。

ベースカラー、サブカラーの面積を算定する時は、けた行方向、張間方向、各面の屋根以外の見付面積に対する割合で計算します。

